

講演テーマ「トランプ外交の行方、中国そして日本」

- 日時 2017年6月21日(水)
- 場所 コリサーチ株式会社地下ホール
- 参加人数 17名
- 担当幹事 robin shultz

第339回オプトフォーラムは、産経新聞ワシントン駐在客員特派員古森先生に「トランプ外交の行方、中国そして日本」と題してアメリカ大統領トランプの日本に対する外交と国際政治の面での駆け引きはどうなるのかに関してご講演を頂きました。

普段の講演会と違ってプレゼン資料及びプロジェクターを使わずに先生に講演を頂きましたが、出席を頂きました会員様は古森先生の話を一言半句も聞き漏らすまいと一心に傾聴しました。その後に古森先生と話したら、先生の普段の仕事と異なって光技術業界で講演することは初めてで、先生にとっても貴重な経験になりましたと教えて頂きました。

人々の意見が分かれているのは政治に関する話で当然ですが、懇親会中でも無事に活発な意見交換がなされました。



古森 義久 (こもり よしひさ) 先生 ご略歴
産経新聞ワシントン駐在客員特派員、麗澤大学特別教授。

1963年慶應大学卒、ワシントン大学留学、毎日新聞社会部、政治部、ベトナム、ワシントン両特派員、米国カーネギー国際平和財団上級研究員、産経新聞中国総局長、ワシントン支局長などを歴任。

ベトナム報道でボーン国際記者賞、ライシャワー核持込発言報道で日本新聞協会賞、日米関係など報道で日本記者クラブ賞、著書「ベトナム報道1300日」で講談社ノンフィクション賞をそれぞれ受賞。

著書は「日中再考」「憲法が日本を亡ぼす」「アメリカがいつまでも守ってくれると思うなよ」「危うい！日本の命運」「中・韓『反日ロビー』の実像」「トランプは中国の膨張を許さない！」など多数。

